

こどもタウンミーティング 小学生の部 （要旨の報告）

日 時：令和7年10月25日（土） 14時00分～15時10分

場 所：シリウス6階生涯学習センター和室

テー マ：市政全般

参加人数：9人（市内在住または在学の小学生）

出席者：古谷田市長、マーケティング課長・広聴係3名

市長挨拶、オリエンテーション後、参加者から意見聴取。

【参加者】

- ・友達が「やまと子ども伝統文化塾」に参加している。
- ・子どもが伝統芸能に触れられる機会があることを知らなかったので、こういった場があることをもっと多くの人に知ってもらえるとよいのではないか。
- ・参加する機会を増やして欲しい。

【市長】

- ・国の制度（文化庁伝統文化親子教室事業）を活用し、詩吟、箏、尺八、日本舞踊、茶道、書道などの伝統文化を学ぶことができる「やまと子ども伝統文化塾」事業を行っている。
- ・私は日本の伝統文化を守っていかなければならないと考えている。
- ・子どもが多かった時代はよかったです、少子化が進行している中では、伝統文化を次の世代につなげていく担い手の育成がとても大切である。
- ・一度、伝統文化が途絶えてしまうと復活させるのが難しいので、伝統文化の継承に取り組んでいきたい。
- ・これまで広報やまとやホームページで周知してきたが、ご意見を踏まえてより多くの人に届くようにしていく。

【参加者】

- ・市ホームページを見ていて図書館城下町のスローガンがよいと思った。
- ・市内には図書館として活用できる敷地があるので、図書スペースになったらもっと気軽に利用できるようになると思う。
- ・大和市は住むには便利だが、阿波踊りや千本桜などもあるが観光資源は少ない。
- ・市内には神社が多くあるので、ちょっとしたカフェがあれば人がたくさん来るのではないかと思う。

【市長】

- ・大和市のホームページを見ていただき感謝する。
- ・シリウスは全国でもトップクラスで利用者が多く、子どもから高齢のかたまで多くの人が集う交流の場になっている。
- ・シリウスの図書館は市の売りであり、市外の利用者も多いので、今後も多く

のかたに利用いただけるよう周知していく。

- ・ご指摘のとおり、大和市は観光客が非常に少ない。
- ・先日訪れた金沢市は、兼六園など観光資源が豊富で観光客が多い。
- ・加賀百万石、前田利家などの歴史や観光資源に奢らず投資をして、更に観光客を呼んでいる。
- ・高知県梼原（ゆすはら）町は人口3千人程の小さなまちだが、坂本龍馬が脱藩する際に通った道を観光資源としてPRし、ウォーキングイベントやガイドツアーなどを企画している。
- ・福山雅治が主演したNHK大河ドラマ『龍馬伝』の頃は、人口の何倍もの観光客を呼んでいる。
- ・梼原町長と話した時に「（観光資源が）なければ作ればよい」「ないと諦めずに、新しい切り口を探した方がよい」とアドバイスいただいた。
- ・2027年にお隣の瀬谷で開催される花博（GREEN×EXPO 2027）に合わせ、大和市にも観光客を呼び込みたい。

【参加者】

- ・運動会の競技がダンスと徒競走しかないので昔ながらの運動会がしたい。
- ・例えば、玉入れ、綱引き、二人三脚などがしたい。

【市長】

- ・私は運動会が大好きで、なぜかというと日本独自の文化だからである。
- ・欧米のスポーツはサッカーや野球などをクラブチーム化しているが、日本のスポーツは体を鍛える体育の一環という側面が強い。
- ・昔の運動会は、騎馬戦や棒倒しなど体と体でぶつかり合う種目も多かったが、危険ということで採用されなくなっていった。
- ・そういう流れの中でコロナ禍があり、子どもの体力減少や教員や保護者の負担も考慮して一日だった運動会が半日に短縮されたことにより、種目も減っていった状況である。
- ・昔ながらの運動会の種目をやりたいというご意見は、教育委員会にしっかりと伝える。

【参加者】

- ・子どもたちの遊び場が少ないとと思う。
- ・学年でポケモンや遊戯王などのカードゲームが流行っているが、できる場所が少なくて困っている。
- ・ショッピングモールで遊ぶ場はあるが、学校のルールで入れない。
- ・公園は風で飛ばされてしまうので、シリウスなどにカードゲームができる場所を作ってほしい。

【市長】

- ・カードゲームが流行っていることを知らなかった。
- ・公園で遊ぶこともできるかもしれないが、今言わされたとおり風で飛ばされた

り、夏の猛暑も考えると難しいということは理解する。

- ・学校では遊べないということでおいか?

【参加者】

- ・雨の日は学校でも遊べるが、晴れの日は外で遊ぶことになっている。

【市長】

- ・カードゲームがどんな状況なのか、教育委員会にも確認してみる。
- ・また、公共施設で遊ぶことについても確認する。

【参加者】

- ・私は3年生のはじめに東京都から大和市に引っ越してきた。
- ・以前住んでいた場所では、毎朝犬を連れてこども達の見守りをしてくれる「わんわんパトロール隊」があった。
- ・毎朝、わんちゃんかわいいなと思いながら登校していた。
- ・大和市に引っ越して来てからも、犬の散歩をしている人を見かけるが、上下校の間に犬の散歩をしている人は東京よりも少ないと感じている。
- ・犬の散歩をするよう呼び掛けて「わんわんパトロール隊」のようなものを作ってくれると嬉しい。
- ・私の学校は登校班なので、登校時は犬に気を取られると、時間がかかったり、危険な場合もあるので、下校時に犬の散歩をするよう呼び掛けるのがよいと思う。

【市長】

- ・「わんわんパトロール隊」はとてもよいアイディアだと思う。
- ・ご意見のとおり、登校班がない下校時は特によいかもしれない。
- ・犬が苦手な人もいるかもしれないが、地域でこどもを見守る仕組みは大事である。
- ・こういった呼びかけについて、東京都の事例も含めて教育委員会にご意見としてお伝えする。

【参加者】

- ・昨年から2回、市議会に請願を提出し、こども会議を定期的に開催してほしいとお願いしてきた。
- ・現在、大和市だけではなく、日本の社会は子ども自身であっても当事者の子どもの意見を聴かないまま、大人が決めることが多い。
- ・例えば、小学校の登校班。
- ・下校の時は自由なのに、なぜ朝だけ登校時だけあるのでしょうか。
- ・しかも、どの登校班になるかは入学前から決まっている。
- ・登校班で学校へ行かないと「行かないんだ」という目を向けられてしまう。
- ・なぜ、最初の時点で子どもが選択できないのか。
- ・何かあったときにという大人の意見や考え方があるのも確かである。
- ・登校班のように大人が思う最善と、子どもが思う自分達の最善は異なる。

- ・だからこそ、こども会議を開き、大人と子どもの対話の場を作ってほしい。
- ・対話式のこども会議は、自由に意見交換ができるように、誰もがリラックスして参加できる環境と、ファシリテーターが必要である。
- ・グループワークやファシリテーターを取り入れ、こどもと大人が対話できる、話しやすい環境づくりが大切と考える。
- ・今年の夏に「中学生の中学生による中学生のための会議」が開かれているが、それとは趣旨が異なる。
- ・今日は、私が考えるこども会議について、資料を作成してきたので、市長にお渡ししたいと思う。
- ・その他に、こども会議では、1年に1回、まちをよくする提案を市に提言して、市が選んだものを実際に事業化するシステムがあると、子どもの参加率も上がると思う。
- ・大和市がもっといいまちになるように、子どもの意見を引き出すためには、グループワークやファシリテーターが必要である。
- ・この会議の様子を、大和市のY o u T u b e チャンネルや市HPで発信すると再生回数も増えて一石二鳥である。
- ・同時に、子どもの権利条約やこども基本法について、大人も子どもが一緒に学ぶことで、共通認識を持つことができるようになり、全国に大和市はすごいなと思わせることができる。
- ・大和市の子どもが海外研修や交換留学ができるシステムを作ってほしい。
- ・フィンランドなど北欧の国では、子どもたちがまちづくりに積極的にかかわっているので、そこで学んだ子どもが大和市の未来をつくるリーダーになるとよいと思う。
- ・子どもと大人の対話があるまち、世界を見て学べるチャンスのあるまち、この二つがあれば、大和市はもっと素敵なものになると思う。
- ・子どもの声がまちを動かす。そのスタートを大和市から作ってほしい。

【市長】

- ・資料も作っていただき感謝する。
- ・子どもの意見を聞くこと、子どもの「なぜ？」はとても大切である。
- ・私たちの世代だと尾崎豊の歌で描かれているように、管理教育というか、大人のルールに従うのが当然とされ、一部に反発もあった。
- ・現在は、子ども子育て支援法もあり、社会全体でこどもを支える方針に変わっており、今、意見をいただいたように、「なんでだろう？」という疑問から自分の意見を持ち、発意できる環境を作っていくみたい。
- ・子どもの意見を聞く環境のひとつとしてファシリテーターは重要である。
- ・市長として学校を訪れた時に、先生のような立場で対話する時に、担任の先生とは違い、普段のコミュニケーションがない私がいきなり皆さんと対話するのはとても難しく、間に担任の先生が入って、ようやく対話になるということがあり、ファシリテーターの重要性はとてもよく分かる。
- ・今こうやって、市長として皆さんの前で話しているが、お会いしてから時間

も経っていないので、皆さんとの間に壁があるというか、お互い緊張もあって、話しづらいという気持ちもあると思う。

- ・子どもの発意に関しては、子どもたち同士で議論して意見をまとめることも大切で、例えば、いじめについてなど、問題意識を共有することも重要である。
- ・いただいたご意見は、今後の参考として受け止めさせていただく。

【参加者】

- ・大和市内の駅や駅ビルにストリートピアノを置いてほしい。
- ・なぜかと言うと、駅や駅ビルには人が多く集まるので、ピアノの音を感じると気持ちが穏やかになるからである。
- ・登校班と自由登校を、子どもが選べるようにしてほしい。
- ・はじめから決まっているのは変だと思う。
- ・大和市は外国人の子どもが多いので、子どもが子ども同士で作り上げるイベントや事業があったらよいと思う。
- ・使わなくなったプールに絵や模様を描きたい。
- ・プールがそのままだとつまらないし、気分も上がらないので、絵や模様があると、楽しく気分も上がるのよいと思う。

【市長】

- ・私もストリートピアノが大好きで、ハラミちゃんの動画などからも、駅や街にピアノの音色が響くことは、心を穏やかにさせる効果があると感じている。
- ・昨年開催した「未来のやまと こどもミーティング」でも、ストリートピアノに関する意見が出ており、市として何ができるのか検討しているところである。
- ・登校班は学校が決めているので、学校と児童でよく話し合ってほしい。
- ・外国人との交流については、大和市には厚木基地があり、英語の学習も兼ねて、夏休み期間のショートステイなどの交流ができたらよいと市長になる以前から考えており、引き続き検討していく。
- ・プールの活用については、釣り堀にしたら面白いと提案したこともあるが、維持管理の問題もあり実現は難しい状況である。
- ・熱中症やプールサイドの熱さによる火傷を考慮すると、屋外プールを続けていくことが難しいが、水難事故を防ぐための学習を続けていく。
- ・学校に関することは、教育委員会が独立した機関であり、市長は提案する立場であるが、しっかり伝えていきたい。

【参加者】

- ・習い事の終了が18時半なので、夏場以外は帰り道が暗い。
- ・歩道がない場所も歩くので、街灯を増やしてほしい。

【市長】

- ・防犯の視点から、まちは明るい方がよいと考えている。

- ・具体的な場所はどのあたりか。

【参加者】

- ・バディつきみ野やイオンスタイル周辺。

【市長】

- ・全部を叶えることは難しいが、ご意見いただいた場所は、道路管理課に現地確認するよう指示し、対応の可否を検討する。
- ・大和市は街並みが形成された後に人口が大きく増えており、道路の幅が狭い場所に住宅が広がっている。
- ・狭い道路を拡げて歩道を作るのが難しい多いが、歩行者、特に子どもやお年寄りの安全確保はしなければならないと考えている。
- ・現在、道路整備計画を策定中であり、例えば、通学路付近の家を建て替えるときは建物を道路境界から少し後ろにずらして建てるセットバックをお願いするなど、時間かけても歩道を作っていくたい。
- ・また、狭い十字路は車が曲がりにくいので、皆さんの命を守る救急車や消防車が曲がりやすくするため、角地を「隅切り」することを、道路整備計画に盛り込んでいきたい。

【参加者】

- ・町田市にはシルクメロンというブランド野菜がある。
- ・大和市でもブランド野菜を作つて、給食で提供したり、収穫体験をしたり、SNSで発信するなどして、地域のアピールにつながると思う。

【市長】

- ・大和市は都市型農業で耕作面積が小さいため、大和市民全員に行き渡るような大量生産ができない。
- ・27km²という狭い市域に24万5千人が住む大和市の都市型農業が生き残るには、ご提案いただいたようにブランド野菜を作つていく必要があると私も考えている。
- ・町田市のシルクメロンは、私も一度視察しており、温室で水耕栽培する方法は、大和市の都市型農業でも応用できると考えている。
- ・ふるさと納税という制度を聞いたことがある人も多いと思うが、大和市は、令和7年度のふるさと納税で市税が約10.7億円流出しており、国から補填される75%を差引くと約2.7億円の減収となっている。
- ・ブランド野菜が作れたら、ふるさと納税の返礼品に活用できるので、税収増にもつながるので、地元の農協や農家さんとも話し合っている。
- ・大和市でブランド野菜を作るとしたら何がよいと思うか。

【参加者】

⇒ぶどう×2、マンゴー、みかん、すいか、いちご、なし、もも、イチジク

【市長】

- ・皆さんの意見を参考にさせていただく。

- ・全員に発表いただいたが、時間があと少しあるので、発表した内容のほかに、ご意見があればお聞かせいただきたい。

【参加者】

- ・給食の量を増やしてほしい。
- ・最近、給食が少ないので、家でおにぎりを食べたりすることが多い。

【市長】

- ・給食の量に関するご意見を伺うことが多いので、先日、写真で確認した限りは、私も少ないと感じた。
- ・給食を作っている側としては、食品ロスを無くすという考え方もある。
- ・ここへ来る前の現地現場広聴活動（青少年発明くふう展）で、給食のデザートが果物だけなので、ゼリーやプリンなども出してほしいというご意見をいただいた。
- ・<質問>皆さんはどう思うか？
⇒出してほしい参加者多数。
- ・皆さんに喜んでもらえる給食が出せるように、ご意見をしっかりと教育委員会に伝える。

【参加者】

- ・自転車でぶつかりそうになったので、自転車の道を整備してほしい。

【市長】

- ・大和市は自転車が関係する事故が最も多い。
- ・自転車道を作るのは難しいが、カラー舗装やマナー向上の啓発にしっかりと取り組んでいく。

【参加者】

- ・バレエのイベントを増やしてほしい。

【市長】

- ・神奈川県で黒岩知事がバレエに大変力を入れている。
- ・大和市でも何等かのイベントがあることに期待している。

【参加者】

- ・今年の夏に宇宙農業について調べ学習をした。
- ・大和市は住宅密集地で農地が少ないという話もあったので、宇宙農業に力を入れてはどうか。

【市長】

- ・宇宙農業はとてもよい着眼点だと思う。
- ・宇宙農業は次世代の産業で、JAXAと相模原市と神奈川県が三位一体で宇宙産業に取り組んでいる。
- ・大和市にはSynspective（シンスペクティブ）という小型衛星の

開発・製造などの事業を展開する企業がある。

- ・とてもすごい企業で、雨の日や夜でも宇宙から写真が撮ることができる衛星を造っている。
- ・こういった企業と市が連携して宇宙産業に取り組めるようにしていきたい。

【参加者】

- ・ポラリスの星の子ひろばで柿やザクロの実がなっているのを見たが、手入れされていなくて勿体ない。
- ・ちゃんと手入れすれば食べられると思う。
- ・地産地消や給食の提供につなげられるのではないか。

【市長】

- ・公共施設以外でも、住宅の柿の実や柑橘類の実が放置されているのもよく見かける。
- ・高齢で手入れができない人が増えているのだと思う。
- ・そういった果実を活用することができるか考えてみたい。

【市長挨拶】

- ・子どもたちの意見を沢山聞くことができたので、少しでも政策につなげたい。
- ・今日の参加人数でも一人当たりの時間は限られてしまうので、学校や地域の公共施設に伺うなど、これからも子どもの意見を聞く機会を作っていくたい。
- ・市に提案ができる「市長への手紙」は必ず全部読んでいる。
- ・名前を書きたくない場合でも、内容は全て読んでいるので、何か思いついたり、伝えたいことがあれば、ぜひ手紙を出してください。
- ・本日は貴重な時間をいただきありがとうございました。